

## は じ め に

岡山市立甲浦小学校

校長 松井 政子

21世紀を目前にして、わが国の教育は多くの課題に直面しています。人としての生き方や、教育についての基本的な考え方を見直し、新たな理念を築く歴史的な転換点にさしかかっているとまいえましょう。

このようなとき、一昨年12月には、新学習指導要領が告示され、今年度からは移行期間に入りました。これからの教育においては、各学校が創意工夫をこらした特色ある教育活動を展開する中で、子ども達に自ら学び自ら考える力を育成したり、基礎的・基本的な内容の定着を図ること、また、個性を生かす教育の充実に努めることなどが求められています。

本校では、「自ら学び共に生きる児童の育成をめざして」を研究主題とし、その具現化をめざして、書写教育と総合的な学習において研究を進めてきました。

幸いにも本校は、平成12年度岡山市書写教育研究発表の機会を得ることができました。書写教育でのサブテーマを、「自分でめあてを見つけ、伸びる喜びを味わう書写学習」と設定し、めざす子ども像を

自分でめあてを見つけて書く子ども 基礎的・基本的な書写力を身につける子ども 伸びた喜びを味わう子ども

ととらえ、児童一人一人が意欲的に課題解決に取り組む学習のあり方や、児童の主体的な活動を支援するための方法について、低・中・高学年各部会で研究実践を重ねてきました。

本校の研究や実践は、ささやかなものではありませんが、本校教育の前進と書写教育推進のために、ご参会くださいました先生方のご指導ご叱正をいただき、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

終わりにになりましたが、本研究を進めるにあたり、懇切なご指導を賜りました岡山市立吉備小学校教頭 高橋三穂先生に謝意を表しますとともに、ご支援を賜りました岡山市小・中学校書写教育関係者をはじめ、関係各位に衷心よりお礼申し上げます。

## 岡山市書写研究会要項

### 1 研究主題

自ら学び共に生きる児童の育成をめざして  
—— 自分でめあてを見つけ、伸びる喜びを味わう書写学習 ——

### 2 期 日

平成12年10月31日（火）

### 3 日 程

13:30 14:00 14:45 15:10 15:20 16:20 16:30

|  |                      |    |          |                     |          |
|--|----------------------|----|----------|---------------------|----------|
|  | 公開授業<br>3年1組<br>(教室) | 移動 | 開会<br>行事 | 研究協議・指導講評<br>(家庭科室) | 閉会<br>行事 |
|--|----------------------|----|----------|---------------------|----------|

### 4 公開授業

第3学年1組 題材 「小山」  
指導者 教 諭 塩田 丞

### 5 研究協議（家庭科室）

#### (1) 開会

・あいさつ 岡山市習字教育研究会 会 長  
岡山市立大井小学校 校 長 山田 清

#### (2) 研究協議

・研究発表 本校教諭 森永 進  
・授業反省 本校教諭 塩田 丞  
・指導講評 岡山市立吉備小学校 教 頭 高橋 三穂  
・運営 岡山市立小串小学校 教 諭 三宅 範子  
・司 会 岡山市立平井小学校 教 諭 吉田 健  
・記 録 岡山市立芳泉小学校 教 諭 寒川 桜子

#### (3) 閉会

・あいさつ 岡山市立甲浦小学校 校 長 松井 政子

# 会場案内図

研究協議会場・会員控室

授業公開

役員控室

受付

# 目次

|           |   |
|-----------|---|
| ○ はじめに    |   |
| ○ 研究会要項   |   |
| ○ 会場案内図   |   |
| ○ 目次      |   |
| ○ 公開授業指導案 | 5 |

## 研究への取り組み

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 学校教育目標                   | 7  |
| 研究主題                     |    |
| めざす子ども像                  | 8  |
| 研究の内容                    |    |
| 1 児童が自分でめあてを見つけて書く学習の工夫  | 8  |
| (1) 学習過程                 | 9  |
| (2) 学習過程における指導           | 11 |
| 2 基礎的・基本的な書写力を身につけるための工夫 | 15 |
| 3 伸びた喜びを味わう評価の工夫         | 20 |
| 4 実践記録                   |    |
| (1) 第1学年                 | 21 |
| (2) 第5学年                 | 29 |
| 5 研究の成果と今後の課題            | 35 |



## 研 究 へ の 取 り 組 み

## 学校教育目標

心豊かで自ら生き生きと活動する児童の育成

- 1 考える子
- 2 なかよくする子
- 3 たくましい子

## 研究主題

自ら学び共に生きる児童の育成をめざして  
—— 自分でめあてを見つけ、伸びる喜びを味わう書写学習 ——

## 研究主題設定の理由

児童に豊かな人間性や自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の育成を図ることをねらいとして改訂された新指導要領への移行期に入って、半年が過ぎた。

ここで、本校児童の状況を見てみると、なかよく生活することはできているが、自ら学び自ら考える力や、心身を鍛えてたくましく生きる力は、十分に育っているとはいえない。この原因を考えてみると、まず、めあてを決めることが友だちまかせになっていて、自分の必要に応じためあてを自分の力で見つけることができていないためであると思われる。また、自分の伸びを正しくとらえたり互いの伸びを認め合ったりできていないので、学ぶことに喜びが感じられず、結果として課題をねばり強く追求することができていないためでもあると思われる。

このようなとき、「自分でめあてを見つけ、伸びる喜びを味わう書写学習」について研究を進めることは、「自ら学び共に生きる児童」を育てることになり、ひいては、学校教育目標を達成することにもなると考え、上記のような研究主題を設定した。

児童の「書写」に関する実態をつぶさに見てみると、筆順や正しい文字に対する関心や、字を書くときの正しい姿勢や執筆が年々低下しつつあるように思われる。姿勢や執筆は、書写・国語のみならず、全ての学習活動の基礎・基本ともいえよう。この基礎・基本が身につけていないために、文字が読みにくかったり文字を書くのに大変手間取ったりして学習活動に支障が出てきているのではないだろうか。私たちは、書写教育研究に取り組むにあたり、これらの基礎・基本の大切さを認識し、書写力のみならず、全ての学習活動の「基」を充実させようと考えた。

## めざす子ども像

- 1 自分でめあてを見つけて書く子ども
- 2 基礎的・基本的な書写力を身につける子ども
- 3 伸びた喜びを味わう子ども

|     | 自分でめあてを見つけて書く子ども                         | 基礎的・基本的な書写力を身につける子ども                                                | 伸びた喜びを味わう子ども                          |
|-----|------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 低学年 | ・めあてをもって、意欲的に書こうとすることができる。               | 姿勢や用具の持ち方に気をつけて丁寧に書こうとすることができる。<br>文字の形に気をつけ、筆順に従って書くことができる。        | 自分の文字のよくなったところを見つけることができる。            |
| 中学年 | 自分でめあてを見つけ、意欲的に書こうとすることができる。             | 姿勢や用具の持ち方に気をつけて書くことができる<br>文字の組み立て方に気をつけ、文字の形を整えて書くことができる。          | 自分や友だちのよくなった所を見つけることができる。             |
| 高学年 | 自分のめあてを見つけ、解決方法を工夫しながら、意欲的に書こうとすることができる。 | 姿勢や用具の持ち方を正しくするように心がけて、書くことができる。<br>文字の大きさなどに気をつけながら、字配りよく書くことができる。 | 自分や友だちのよくなった所を見つけ、伸びたことを共に喜び合うことができる。 |

## 研究の内容

- 1 児童が自分でめあてを見つけて書く学習の工夫

### （１）学習過程

児童一人一人が自分の字を知り、自分でめあてを見つけ、意欲的に課題を解決していくために、次のような学習過程を設けた。

低学年用・・・児童の発達段階を考えて、基準（解決の手がかり）を知ってから、自分の問題点を見つけて、めあてをもつようにした。

中・高学年用・・・毛筆（２時間扱い）の場合を示した。

## 低学年用

### 基本的な学習過程

硬筆，1時間扱い

めあてをもつ。

《ウォーミングアップ》

\* 姿勢・執筆を正しくする練習

(1) 題材を知る。

(2) 試し書きをする。

(3) 基準を知る。

\* 自分の問題点を見つける。

(4) めあて（全体）をもつ。

課題を解決する。

《ウォーミングアップ》

\* 姿勢・執筆を正しくする練習

(5) 練習する。

(6) まとめ書きをする。

学習のまとめをする。

(7) 評価をする。（自己）

## 中・高学年用

### 基本的な学習過程

毛筆，2時間扱い

< 第1時 >

めあてを見つける。

《ウォーミングアップ》

\* 姿勢・執筆を正しくする練習

- (1) 題材を知る。
- (2) 試し書きをする。
- (3) 手本と試し書きとを比べる。
- (4) めあて（全体）を見つける。

自分のめあてや，解決の手がかりを見つける。

- (5) 基準を知る。  
めあて（全体）の中で，頑張りたい自分のめあてを見つける。  
解決の手がかりを見つける。

課題を解決する。

《ウォーミングアップ》

\* 姿勢・執筆を正しくする練習

- (6) 練習する。

学習のまとめをする。

- (7) 評価をする。（自己）

< 第2時 >

自分のめあてや，解決の手がかりを確認する。

- (1) 基準を確認する。  
めあて（全体）の中で，頑張りたい自分のめあてを確認する。  
解決の手がかりを確認する。

課題を解決する。

《ウォーミングアップ》

\* 姿勢・執筆を正しくする練習

- (2) 練習する。
- (3) まとめ書きをする。

学習のまとめをする。

- (4) 評価をする。（自己＆相互）

## （ ２ ） 学 習 過 程 に お け る 指 導

めあてを見つける

段階

《ウォーミングアップ》

\* 姿勢・執筆を正しくする練習

(1)題材を知る。

- 学習する字の成り立ち等を見せることにより，字をイメージしやすくする。

(2)試し書き（試書）をする。

- 手本を見ないで，試し書きをする。
- 手本をよく見て，試し書きをする。
- 空書きした後で，試し書きをする。

(3)手本と試し書きとを比べる。

- 手本と試し書きとを比べて問題点を見つけ，赤のサインペン等で書き込む。

(4)めあて（全体）を見つける。

- 手本通りにいかなかった所を話し合う中で，共通の問題点に気づいて，めあて（全体）を見つけることができるようにする。

自分のめあてや，解決の手がかりを見つける

段階

(5)基準を知る。

めあて（全体）の中で，頑張りたい自分のめあてを見つける。

解決の手がかりを見つける。

- 中心線や補助線をひいて，基準を見つける。
- 分解文字をいろいろ並べて，基準を見つける。
- 竈書き，骨書き等をして，基準を見つける。
- 穂先の動きを観察したり，穂先の軌跡を図示したりして，基準を見つける。

課題を解決する

段階

《ウォーミングアップ》

\* 姿勢・執筆を正しくする練習

(6)練習する。

- 自分に合った効果的な方法で練習する。
  - ・ 水書板・・・・・・・・大きくのびのび書ける。
  - ・ 水書用紙・・・・・・・・何回も練習できる。
  - ・ 補助プリント・・筆字，骨字，外形，始筆・折れ・終筆の位置等がある。
  - ・ 半紙・・・・・・・・上記の方法も取り入れながら練習する。

課題を解決する

段階

《ウォーミングアップ》

\* 姿勢・執筆を正しくする練習

(2)練習する。

- 自分に合った効果的な方法で練習する。
  - ・ 水書板・・・・・・・・大きくのびのび書ける。
  - ・ 水書用紙・・・・・・・・何回も練習できる。
  - ・ 補助プリント・・筆字，骨字，外形，始筆・折れ・終筆の位置等がある。
  - ・ 半紙・・・・・・・・上記の方法も取り入れながら練習する。

(3)まとめ書きをする。

- 基準を思い出しながら，清書を書く。

学習のまとめをする

段階

(4)評価をする。（自己＆相互）

- 試し書きとまとめ書きとを比べて，自分や友だちのよくなった所を見つけ合い，評価を書く。

学習のまとめをする

段階

(7)評価をする。（自己）

- 試し書きとまとめ書きとを比べて，自分のよくなった所を見つけて，
  - で自己評価を書いたり，次時の課題を書いたりすることで，次時の意欲がもてるようにする。

< 第 2 時 >

自分のめあてや，解決の手がかりを確認する

段階

(1)基準を確認する。

めあて（全体）の中で，頑張りたい自分のめあてを確認する。

解決の手がかりを確認する。

- 前時に見つけた基準を確認する。

## 2 基礎的・基本的な書写力を身につけるための工夫

姿勢・執筆は，書写はもとより全ての学習活動の基礎・基本であるとの考えから，姿勢・執筆を正しくする練習として，《ウォーミングアップ》の時間を，試し書きと練習の前に設けることにした。

### 《ウォーミングアップ》の内容

- 姿勢・・・背中がピン，おなかはぐー，手足はパー
- 腕の体操・・・前後，左右，斜め
- 筆の持ち方・・・水平，垂直，龍眼

姿勢・執筆，用具について，詳しい解説を記す。

（岡山県習字教育研究会，書写指導資料，平成9年5月）



### 3 伸びた喜びを味わう評価の工夫

今までの評価は、清書作品だけの教師の評価になりがちであった。そこで、児童が、自分や友だちのよくなった所を見つけ、伸びたことを共に喜び合うことができるようにしたいと考え、次のようにすることにした。

#### (1) 教師の評価

- 学習過程中・・・期間巡視しながら、児童が自分のめあてや自分で見つけた解決の手がかりによって努力していることを賞賛する。
- 学習後・・・・評価カードや、付箋に書かれていることを基にして児童の伸びを評価する。

#### (2) 児童の評価

- 自己評価・・・・試し書きとまとめ書きとを比べて、自分のめあてや解決の手がかりに沿って、よくなった所やこれから頑張りたいことを、付箋や評価カードに記入する。

- 相互評価・・・・試し書きとまとめ書きとを比べて、全体のめあてに沿って、友だちのよくなっている所を見つけ、伸びたことを話し合う。

## 4 実 践 記 録

### 5 研究の成果と今後の課題

#### (1) 研究の成果

本校では、「自ら学び共に生きる児童の育成をめざして」を研究主題とし、「自分でめあてを見つけ、伸びる喜びを味わう書写学習」をサブテーマとして研究を進めてきた。その結果、ささやかではあるが、いくつかの成果をあげることができた。

##### 自分でめあてを見つけて書く子ども

基本的な学習過程に沿い、指導方法を工夫したので、児童が自分でめあてを見つけ、見通しをもって、主体的に学習に取り組むようになった。

- 手本と試し書きとを比べて問題点を見つけることができるようになった。〔毛筆〕
- 基準（外形）を示した透明シートを文字の上に重ねることは、色々な基準（外形）を見つけるのに有効であることが、確かめられた。〔硬筆〕
- めあて（全体）が明らかになった後に、基準（文字の形・組み立て方・大きさ、筆順等）に気づくようにしたので、自分のめあてを見つけやすくなった。但し、基準が多すぎると、教師主導になりがちなので、注意を要する。〔毛筆〕
- ワークシート（かご字、骨書き、外形、切り字）、水書用紙、水書板などの中から、自分に合った方法を選んで練習するようにしたので、楽しく意欲的に学習できた。（毛筆）

##### 基礎的・基本的な書写力を身につける子ども

姿勢や執筆を正しくする練習として、『ウォーミングアップ』の時間を、試し書きと練習の前に設けることにしたので、姿勢や執筆の大切さを意識するようになった。〔硬筆・毛筆〕

分解文字を操作したり、穂先の図を観察したりしたので、基準（文字の形・組み立て方・大きさ、筆順等）に気をつけて書くことを、意識するようになった。〔毛筆〕

##### 伸びた喜びを味わう子ども

試し書きとまとめ書きとを比べて、よくなった所やこれから頑張りたいことを、付箋や評価カードに記入することで、自分の力が伸びた喜びを味わうことができるようになった。〔毛筆〕

#### (2) 今後の課題

次の課題が残ったので、今後も研究を深めていきたい。

児童に合った学習過程については、ようやく定まってきたばかりなので、今後は、定着を図っていきたい。〔硬筆・毛筆〕

姿勢や執筆の大切さを意識するようになったが、書き始めると、すぐくずれてしまう児童も見られるので、姿勢・執筆は全ての学習活動の基礎・基本であるとの考えから、今後も継続的に指導する必要がある。（硬・毛

筆）

自分の力が伸びた喜びを味わうことができるようになったが、友だちの

よくなった所を見つけ，伸びたことを共に喜び合うまでには至っていない  
ので，友だちの伸びがよく分かるように工夫する必要がある。〔毛筆〕

## 書写校内研究会要項

### 1 研究主題

自ら学び共に生きる児童の育成をめざして  
—— 自分でめあてを見つけ，伸びる喜びを味わう書写学習 ——

### 2 期 日

平成 1 2 年 1 0 月 1 1 日（水）

### 3 日 程

13:30 14:00 14:45 15:10 15:20 16:20 16:30

|  |                         |    |          |                    |          |
|--|-------------------------|----|----------|--------------------|----------|
|  | 公開授業<br>3 年 1 組<br>(教室) | 移動 | 開会<br>行事 | 研究協議・指導講評<br>(会議室) | 閉会<br>行事 |
|--|-------------------------|----|----------|--------------------|----------|

### 4 公開授業

第 3 学年 1 組 題材 「小山」  
指導者 教諭 塩田 丞

### 5 研究協議（会議室）

#### (1) 開会

・あいさつ 校長 松井 政子  
(講師紹介)  
岡山市立吉備小学校 教頭 高橋 三穂 先生

#### (2) 研究協議

・研究の概略説明 教諭 森永 進  
・授業反省 教諭 塩田 丞  
・司会進行 教諭 山神 勝  
・記録 教諭 本多 啓子

#### (3) 閉会

・あいさつ 教頭 安藤 伸一

## 研究授業・研究協議 メモ

\* 授業づくりのために，研究協議終了後 ご提出下さい。

### 1 授業参観及び協議の視点

・児童が自分でめあて（全体）を見つけることができたか。

・めあてを解決するために「基準」を意識できていたか。

・姿勢や用具の持ち方に気をつけて書くことができていたか。

・自分のよくなった所を見つけることができたか。

・（その他）

## 書写校内研究会当日の日程

給 食 12:30～13:15

食器返却 13:15～13:25

清 掃 13:25～13:40

休 憩 13:40～14:00

5 校 時 14:00～14:45

（自学級自習，3年1組研究授業 教員全員参加）

学級下校 14:45～15:00

研究協議 15:10～16:30（会議室）

## 書写研究会打ち合わせ会

### 1 期 日

平成12年10月19日（木） 16:30～

### 2 場 所

岡山市立甲浦小学校校長室

### 3 協 議

#### (1) あいさつ

校 長 松井 政子

#### (2) 自己紹介

・運 営 岡山市立小串小学校

教 諭 三宅 範子

・司 会 岡山市立平井小学校

教 諭 吉田 健

・記 録 岡山市立芳泉小学校

教 諭 寒川 桜子

#### (3) 本校の研究について

研究主任 森永 進

#### (4) 研究会当日の運営について

開閉会行事

研究協議

会場設営図

掲示物

岡山市習字教育研究会 会長

校長

指導講評

教頭

岡山市習字教育研究会 Bブロック長

研究主任

運営

授業者

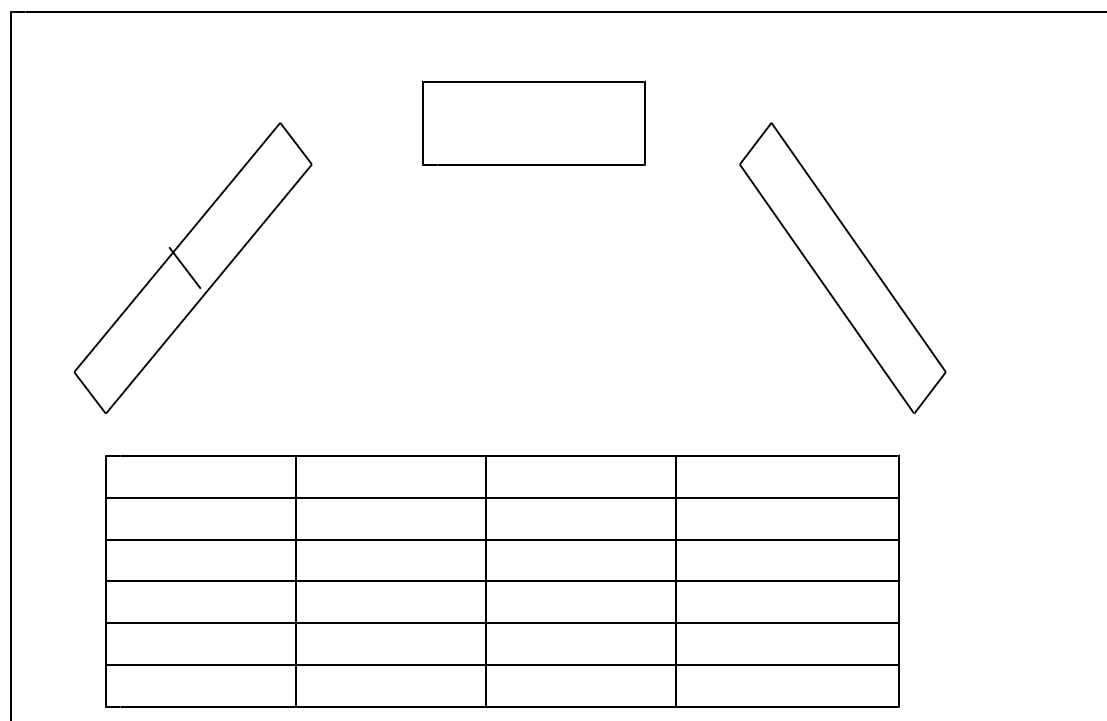
司会

記録

記録

\* 受付，研究協議会場・会員控室，役員・指導者控室，授業公開学級

## 会場設営図



## 書写研究会当日の日程

|                         |                                  |
|-------------------------|----------------------------------|
| 給食                      | 12:00 ~ 12:45                    |
| 食器返却                    | 12:45 ~ 13:00 (給食当番以外の児童は清掃)     |
| * 掲示物添付 (協議会場以外, 秋山・松本) |                                  |
| 清掃                      | 13:00 ~ 13:15 (掲示物添付, 協議会場内, 戸井) |
| 学級下校                    | 13:15 ~ 13:20                    |
| 駐車場                     | 13:00 ~ 14:00 (小倉)               |
| 講師                      | ・ 行事黑板前,                         |
| 役員                      | ・ バスケコート (雨天時は, ロ-アリー) 5 ~ 6 名   |
| 一般                      | ・ 運動場西側                          |
| 受付                      | 13:20 ~ 14:00 (秋山・松本)            |
| 接待                      | (河合)                             |
| 5 校時                    | 14:00 ~ 14:45 (3 年 2 組) 本校記録小川   |
| 研究協議                    | 15:10 ~ 16:30 (家庭科室) 本校記録本多      |
|                         | 15:10 ~ 15:20 開会行事               |
|                         | 15:20 ~ 15:35 研究発表               |
|                         | 15:35 ~ 15:40 授業反省               |
|                         | 15:40 ~ 16:05 協議                 |
|                         | 16:05 ~ 16:20 指導講評               |
|                         | 16:20 ~ 16:30 閉会行事               |

## 特別清掃箇所

- 公開学級清掃 (窓がらを含む), 環境整備・・・中学年担任, 3 年 2 組児童
- 研究協議会場清掃 (窓がらを含む)・・・6 学年担任, 6 年児童
- 2 階西便所 (窓がらを含む)・・・5 学年担任, 5-2 児童
- 玄関清掃 (窓がらを含む)・・・松本, 秋山, 6 年児童
- 校長室 (窓がらを含む)・・・河合, 6 年児童
- 1 階廊下 (窓がらを含む)・・・低学年担任, 八田, 1 年児童
- 1 階便所 (窓がらを含む)・・・当番教職員
- 西階段, 踊り場 (窓がらを含む)・・・4 学年担任, 4 年児童

# 書写教育研究会

## 当 日 記 録

平成 1 2 年 1 0 月 3 1 日 (火)

岡 山 市 立 甲 浦 小 学 校